



学校だより

我慢 笑顔
努力する力

令和3年 9月16日
長崎市立三和中学校
校長 岩永聡輔

2学期の学校行事は？

新型コロナウイルス感染症の影響で、現在、学校での活動に様々な制限がかかっています。部活動等少しずつ緩和されていますが、まだまだ制限が多い状態です。しかし、県内の感染状況を考えるとリスクを抑えながらの教育活動は当然です。近づいてきた合唱コンクールも、通常の練習ができず、体育館や屋外でマスクをつけ間隔を十分に取った状態でのパート練習にとどめています。今は感染状況が落ち着き合唱活動の条件が緩和されるのを待っている状態です。



保護者の皆様には、大変申し訳のないのですが、合唱コンクールに保護者を呼べるか無観客で行うかは、まだ決定できない状況です。期日も10月1日を予定していますが、条件の緩和が遅くなった場合は、10月8日も考えています。さらに遅れた場合は、合唱コンクールの開催の仕方にも工夫が必要になってきます。先が読めない中でも、子どもたちは「今できる練習」にしっかり取り組んでいます。

保護者様への合唱コンクール案内がいまだに配付できない状況ですが、子どもたちの努力を披露する場を何とか確保したいと考えています。ご理解のほどよろしく願いいたします。

青函連絡船

本州の青森と北海道の函館を結ぶ連絡船。青函トンネルが開通し本州と北海道が鉄道でつながるまでは列車を船に載せて運んでいました。(1988年まで)海の上の線路だったのです。今年、長崎市在住の方(匿名を希望)から、長崎市立の全小・中・高等学校に青函連絡船の模型が寄贈されました。三和中学校にも、1/500の青函連絡船「十和田丸」の模型が届き、現在、ほっとルーム前に展示しています。船の後方にはレールが敷かれているのが模型でもはっきりとわかります。輸送(運輸)手段には鉄道・船舶・トラック・航空機と様々ありますが、かつては鉄道輸送が国内での輸送の大きな割合を占めていました。模型を歴史の一つとして見てくれれば、寄贈した方の厚意に応えることになると思います。

「密」を避ける理科のおじさん

先週、教育実習生の「縄文時代」の授業を参観しました。打製石器・磨製石器も学習していましたので、9月12日(日)に石器の原料である「黒曜石(こくようせき)」の採集に行ってきました。長崎県でも黒曜石は採れます。場所は川棚町の大崎半島。現在、感染症の影響で営業を休止しているオートキャンプ場近くの海岸で採集できます。もちろん誰もいませんでした。採集した黒曜石は8月に採集した平戸のメノウとともに校長室にあります。

校長より

9月になって、地域在住の方(匿名)から一本の電話がありました。内容は「夕方のサントピア前での中学生の態度」です。地域の方からは「中学生はあいさつが良い」等、お褒めの言葉をいただくこともあります。今回は「苦情」です。1学期も下校の途中でサントピア前にたくさんの中学生が集まっているところを見かけました。公共の場で中学生の集団が騒がしかったら、周りの人はどう思うか考えることができる人間になってほしいと思います。

中学生の学校での生活を見ると「本当にあいさつが良い？」と疑問に思う場面もあります。完璧な人間なんていませんが、向上を目指すのは当然で、特に小・中学生は自分を変えることができる柔軟な頭を持っていますので、ここでしっかりと「より完璧に近い人間を目指し」てほしいと思います。友人と楽しい時も外にいるときは周囲の状況を考える力を身につけてください。



それよりも「道草せずに早く帰りなさい！」